

# ケルヒャー ジャパン株式会社 新代表取締役社長就任のお知らせ

新代表取締役社長にマーク・ヴァン・インゲルゲムが就任  
現 代表取締役社長の佐藤八郎は取締役副会長に就任

ケルヒャー ジャパン株式会社

清掃機器の最大手メーカー、ドイツ・ケルヒャー社の日本法人、ケルヒャー ジャパン株式会社は、2020年7月1日付で代表取締役社長の佐藤八郎が取締役副会長に就任し、新たな代表取締役社長にマーク・ヴァン・インゲルゲム (Marc Van Ingelgem) が就任することをお知らせいたします。

当社は2018年に創立30周年を迎え、「Enter the Next Stage (新たなステージへ)」をモットーに、お客様のニーズや社会環境に応じて変化し続け、より質の高い製品やサービスの提供に努めております。この度、新たな経営体制の下、経営基盤を強化し、ブランド価値を高めていきます。そして、現在進めている中期計画を迅速に進め、常にお客様の期待を超えていけるような会社を目指して参ります。佐藤八郎は取締役副会長に就任し、インゲルゲム新社長をバックアップしつつ、次なる成長戦略の推進を支えてまいります。

社長交代について、ケルヒャーグループ会長兼ケルヒャージャパン代表取締役会長のハルトムート・イエナーは、「佐藤八郎のこれまでの功績とケルヒャー ジャパンへの献身的な取り組みに心から感謝しています。そして取締役副会長に就任することも嬉しく思っています。佐藤の持つ日本のマーケットに関する包括的な見識をあわせて、新社長となるマーク・ヴァン・インゲルゲムに引き継いでいきます。」と述べています。

新社長となるマーク・ヴァン・インゲルゲムは、1983年にアントワープのAP University of Applied Sciences and Arts Antwerpを卒業後、Unilever社にてディレクターとして勤務。その後、Tennant Company社ではマーケティング、ゼネラルマネジメント職を務め、洗浄および衛生用品のプロバイダーであるJohnson Diversey社ではホスピタリティ、ヘルスケア、食品・飲料、外食サービス、小売及び施設管理分野の戦略マーケティングユニットディレクターを務めました。2010年にドイツ・ケルヒャー社に入社し、業務用グローバルセールスの副社長として、グローバルにおける業務用製品のセールスおよびマーケティングを統括しています。さらに、この期間にケルヒャー・オーストラリアの会長も務め、2016年/2017年には事業の再編も実行しました。

2000年にはAshridge Business SchoolにてエグゼクティブMBAを取得しており、英語、オランダ語に加えてドイツ語、フランス語に堪能です。



## ■ 異動内容

氏名	新役職名	現役職名
佐藤 八郎(さとう はちろう)	取締役副会長	代表取締役社長
マーク・ヴァン・インゲルゲム	代表取締役社長	—

## ■ 新代表取締役社長 マーク・ヴァン・インゲルゲム 略歴

出身地： ベルギー・アントワープ

略歴： 1983年 AP University of Applied Sciences and Arts Antwerp  
(Hogeschool Antwerpen) 卒業

2000年 エグゼクティブMBA取得(Ashridge Business School)

2002年 Tennant Company社 入社

2004年 Johnson Diversey社 入社

2010年 ドイツ・ケルヒャー社 入社

ケルヒャーは、ドイツで生まれた、世界最大手の清掃機器メーカーです。高圧洗浄機をはじめ、床洗浄機、スーパー、乾湿両用クリーナー、スチームクリーナーなど、3,000種類もの清掃機器を有し、世界中で愛用されています。それらの技術開発力を活かして、ニューヨークの自由の女神やベルリンのブランデンブルク門、リオデジャネイロのキリスト像、広島平和記念公園のモニュメントなど、世界的に有名な建造物や彫像の洗浄・再生も手がけています。

ケルヒャー ジャパンは、18番目の現地法人として1988年に設立しました。以後、全国に拠点を開設し、販売・サービスネットワークを構築・拡充しています。社会貢献活動としては、2000年に広島平和記念公園の9体のモニュメント、2008年に栃木県の松田川ダム壁面をキャンバスに、高圧洗浄機で汚れを落として絵を描くエコ・アートを実施し、2010年には国の重要文化財である「日本橋」を洗浄・再生するクリーニングプロジェクトを成功させています。

今後も日本に新しい「清掃文化」を根付かせることを目標に、より一層の努力と挑戦を続けて参ります。